

第29号

ほそごう地域コミュニティ推進協議会
 〈細河〉
 NPO法人 細河みどりの郷
 〒563-0013 大阪府池田市市川原町216-2
 TEL/FAX 072-754-5711
 E-mail:hcms@iris.eonet.ne.jp
 URL <http://hosokawa-midorinosato.com>

細河地域 コミュニティ ニュース

植木の聖地、細河から生み出す“植物由来”なファスティバル
 「HOSOKAWA BOTAFES」が11月13日(土)14日(日)
 二日間にわたって、旧細河小学校で開催されました。

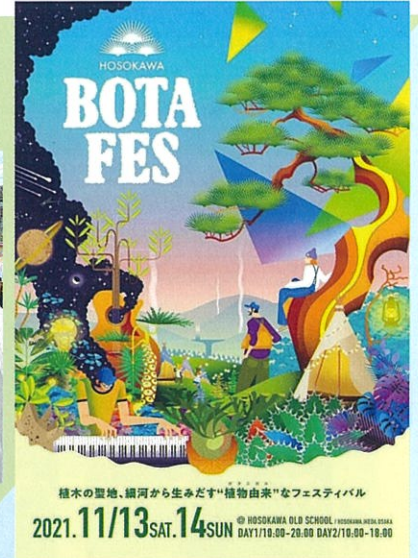
地域と共に



↑ 夜遅くまで行われた会場設営



↑ 多くの参加者でにぎわう会場



↑ ほそごう学園2年生がキッズエリアでおもてなし



↑ 地域の竹で巨大リース(椅子)作り(2年生)



↑ 福祉部会が提供したスタッフの食事(14日)13日(土)はカレーでした

地域からの発信

← 間伐材や葉っぱで作った小物・アクセサリ(8年生)



↑ 植木の剪定のパフォーマンス

地域の未来

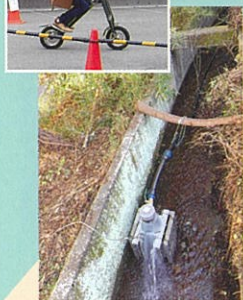
～エネルギーの地産地消～



↑ トークライブ：ほそごう学園8年生による細河の植木



↑ トークライブ：会長によるコミ協のとりくみ報告



↑ 植木のセリ市



↑ プラントブース(植物ブース)



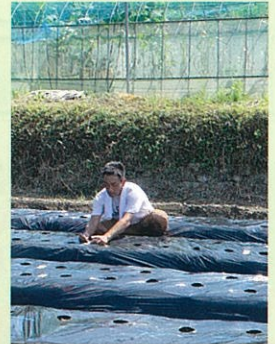
↑ 疾風による太鼓演奏

細河大根



収穫の喜び～育てて食べよう！

毎年、大根は東山の畑で育てています。
 8月26日、鶏糞とバークたい肥、有機石灰をまき、土をpH6に調節した後、トラクターで耕し、畝をたてました。翌日、保温と除草のため黒マルチをかけ25cm～30cm間隔で穴を開けました。



池田・渋谷中学校

(11月26日)

五月丘小学校

(11月26日)

ほそごう学園 3年生

(12月3日)



大根を収穫しました。



●ほそごう学園 3年生が種をまきました。(9月6日)



おいしいね

収穫した大根は市内小中学校園、保育所・認定こども園、やまばと学園の給食に使われました。



●配食サービスのお弁当にも使われました。



細河大根の豚汁

●池田中学校、渋谷中学校の委員会が考案したメニューです。ふくまるラーメン、クリスマス風すき焼きは、ほそごう学園 3年生が考案しました。



●3日後、芽が出ました。



●芽が 3～4 cm伸びたところで、1回目の間引きをしました。(9月15日)



●朝市に出荷をしました。



●茎がたばこの太さくらいになった時、2回目の間引きをしました。(10月8日)



いも畑で



●ほそごう学園 2 年生が吉田の畑でさつまいもの苗をうえました。(6月17日)



●池田小学校 6 年生によるいもほり(10月8日)

市民農園で



●大阪市内から夏野菜の最後の収穫と、さつまいもを掘りに来られていました。市民農園を利用して4年。農作業にも精が出ます。



●教育部会によるいもほりが行われました。(11月21日)



●ほそごう学園 2 年生によるいもほり(10月20日)



●炭焼き器で焼きいもをしました。(12月3日)



原木で



●旧細河幼稚園園庭と、伏見町のブルーベリー園のそばにある原木に多くのしいたけがなりました。

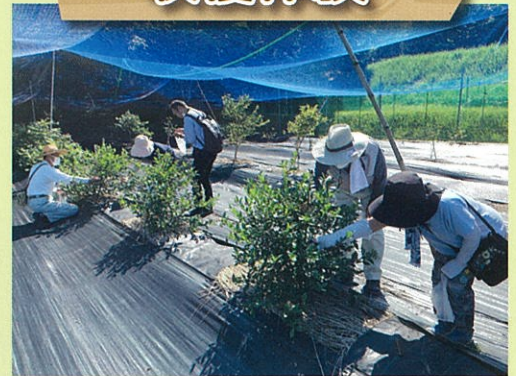


●しいたけを使った献立が配食弁当に。



●しいたけを乾燥させて粉末にし、コーヒー豆にブレンドしたしいたけコーヒーがポタフェス当日に販売されました。

ブルーベリー収穫体験



●伏見町の畑で育てていたブルーベリーの木が実をつけました。初収穫です。たくさんできるようになって、一般の人にもブルーベリーを摘んでもらうことができるようになったらいいなと思っています。

お弁当に



●中川原のぶどう園で育てたピオーネがお弁当に。



●ブルーベリー園のそばの畑で育てた冬瓜を使ったメニューです。

NEWS

手作り品の販売市の開催

10月16日（土）、細河みどりの郷案内所で手作り品の販売市を開催しました。マスクやポーチ、鞆、チュニックなど、テーブルいっぱいには手作り品が並びました。販売や講座、ちょっとした集まりなどに案内所を利用してみようと思われる方は、気軽に事務所までお問い合わせください。



フードドライブの開催

10月3日（日）、細河コミュニティセンターで、細河地域で初めてのフードドライブが行われました。「もったいないを笑顔に変える！食を通してあたたかなつながりを！」というとりくみでしたが、みなさまから寄贈いただいた食品はフードバンク団体や地域福祉団体で活用していただくことができました。次回は3月19日（土）を予定しています。



子育てサロン

11月16日（火）、細河コミュニティセンターで子育てサロンが開かれました。参加者は少なかったですが、ホップくんとあわせて、今後も子育て世代の方々にたくさん利用していただければと思います。3月までは第3土曜日10：00～11：30を予定しています。



『生き物たちの営み 池田市細河の自然』発刊

伏尾台に住んでおられ、今まで多くの細河の生き物を撮影されてきた横田靖さんが、その集大成として149ページにわたる写真集を刊行されました。市役所や緑のセンターで写真展をして感じたのは細河のことを知らない人が案外多く、細河の自然を紹介して細河をPRしようと考えて作ったと教えていただきました。昔は五月山の南側も溜池が多く生き物も豊富でしたが住宅地になり生き物は少なくなりました。一方細河地域は今でも植木・農業を大切に自然が守られ、里山が守られているので生き物の宝庫です。しかし、写真を撮り始めたところから比べると、耕作放棄地が増え、それまでの生き物も今では見られないものが増え生き物の多様性がなくなって来たそうです。生き物の多様性は、植木産業や農業が上手く維持されているかどうかのパロメーターだと考えています。写真集はみどりの郷にあります。以前刊行された『池田市 細河の「野の花」100』も展示しています。是非あわせてご覧ください。



募集しています！

配食サービスのお弁当を配達して下さる方を募集しています。

募集内容は、

- ①車・バイクを運転できる方で、
- ②年齢・性別は問いません。
- ③毎週水曜・金曜日の10時30分から1時間程度です。

配達は、高齢者の見守りも兼ねています。



大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして！！

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況

2021年 1/1～10/31

犯罪	● 暴行・傷害	2 件	災害
● 空き巣・侵入 1 件	● 交通事故	21 件	● 火災 1 件
● バイク・自転車盗難 1 件	● 台風（大型）	0 件	● 地震 0 件
● 自動車盗難 0 件	● 地震	0 件	● 水害 0 件
● 車上ねらい 0 件	● 自動車部品ねらい 1 件		
● 自販機ねらい 3 件	● 器物損壊 3 件		



ええトコ

2004年4月、古江保育所内に子育て支援の場として「ホップくん」が開設されました。自然豊かなホッと出来る場所です。お部屋で木製玩具や手作り玩具で遊んだり、子育てのことを語り合ったりして、ゆっくり過ごせます。また、細河コミュニティセンターをお借りして、「子育て支援講習会」や「今日のいちおし！」など様々なイベントを開催しています。子育て中の保護者の皆さん、「ホップくん」に誘い合って遊びに来てくださいね。

木曜日の15:00～16:00には、子育ての気になることなどを、気軽に個別で、スタッフとお話できる「ホップタイム」も行っています。

- 施設名 池田市地域子育て支援拠点『ホップくん』
- 所在地 池田市古江町4番地（古江保育所内）
- 電話・FAX 072-753-7999
- H P <http://www.city.ikeda.osaka.jp/>
- 開設時間 月～金曜日 9:30～16:00（祝祭日・年末年始は、休み）
- 広場利用時間 ①9:30～12:00 ②13:00～15:30 *木曜日は、15:00まで

小石小児科の剛先生が虫歯予防のための“歯みがき”“フッ素”“食生活”についてお話をしました。



↑ ホップくん室内



↑ パパと遊ぼう



↑ 合同ホップおみせやさん



↑ 子育て支援講習会



↑ 手作り講習会



↑ 今日のいちおし



細河歴史・文化遺産

原始から古代・中世の細河のようす

無土器時代

今から約二〜三万年前、私たちの住んでいる池田市にも人が住んでいました。伊居太参道遺跡や宮の前遺跡から出土した石器から、当時の人々は石器だけを使い、まだ土器を使っていなかったことがわかっています。

約一万年前に最後の氷河期が終わり、地殻変動ののち「日本列島」となり、その中で人々は、石器に加えて土器を使用する生活を営むようになってきます。

*伊居太神社参道遺跡（ナイフ型石器・尖頭器（先がとがっている））

*宮の前遺跡（ナイフ型石器）

縄文・弥生の時代

狩りと魚とりの生活

このころの日本列島は、森が多く、けものをとる狩りや魚とりを中心とした生活でした。

私たちの細河の地では、縄文時代の石器が、古江遺跡（古江町）から採集されています。このことから、細河にも早くから縄文人が生活していたことが裏付けられました。しかし、この時代の特徴である縄文式土器は見つかっていません。石器はぐんと進歩して石をみがいでするようになっていきます。

*古江遺跡

（石ひ（皮はぎ用として用いられた石器））

イネづくりがはじまった

イネづくりは、水と深い関係がありますが、イネづくりの始まった弥生時代の遺跡が、猪名川流域には多数あります。細河の地では木部遺跡と鼓ヶ滝遺跡です。

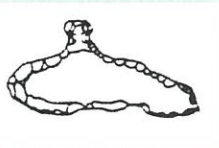
*弥生式土器（宮の前遺跡）



木部遺跡

丘陵地（標高三三メートル）の斜面に広がる遺跡です。現在は、植木畑となっていますが、水路工事の時に池田中学校の生徒により発見されました。弥生時代の土器（つぼ・かめ・たかつき・水差・台付鉢など）も採集されました。

- *つぼ（壺） 物をたくわえるために用いた。
- *かめ（甕） 煮たきに用いた。
- *たかつき（高坏） 物をもるために用いる。
- *こしき（甑） 米などを蒸した器具。鉢形または甕がたで、底に湯気を通す穴があった。

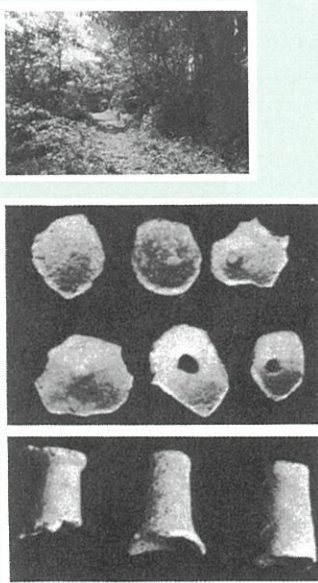


鼓ヶ滝遺跡

能勢電鉄鼓ヶ滝駅の南、古江丘陵（標高九〇〜九四メートル）の屋根状斜面に広がる遺跡です。この遺跡からは、（つぼ・かめ・たかつき・こしきなど）が採集されています。この遺跡は、対岸で発見された川西市矢間遺跡と同時期のものとされ、土地のようすから見て、池田と能勢方面との人や物の交流（村から村へ）があったのではないかと考えられています。

これら二つの遺跡は、猪名川水系中流の平野部に位置し、農耕に適しているため、早くから開けていたことがわかります。

*鼓ヶ滝遺跡と出土品（弥生式土器片）



◎これまで、「細河 歴史 文化遺産」として、寺社、街道、町の由来を紹介してきました。

今回からは旧細河小学校六年生の郷土学習教材「ほそかわ」を使って、細河の歴史を紹介していきます。

